

パブリック・コメント

青梅市移住・定住促進プラン（原案）のパブリック・コメントを以下のとおり実施しました。

ア 実施期間

令和7（2025）年2月15日（土）から2月28日（金）までの14日間

イ 周知方法

広報おうめ2月15日号、市ホームページ、市公式LINEアカウントおよび市Instagramアカウント「My Home, My Ome」

ウ 閲覧場所

青梅市役所（2階行政情報コーナー・3階シティプロモーション課窓口）、各市民センター、中央図書館、市ホームページ

エ 意見提出方法

（ア）閲覧場所に備え付けの用紙（市ホームページからダウンロード可）に、必要事項、意見を記入し、次の方法で提出する方法

- ・直接シティプロモーション課へ持参
- ・郵送
- ・ファックス
- ・電子メール

（イ）オンライン専用フォーム（Log oフォーム）に直接入力し、提出する方法

オ 意見募集結果

提出者数：11名、意見数：16件

（電子メール：1名・2件、オンライン専用フォーム：10名・14件）

※ 1人の意見を内容ごとに分け、1件としてカウントしています。

カ 意見要旨および市の考え方

項番	区分	市民意見の内容（要旨）・市からの回答の内容
1	意見	4(4)ベルソナの設定 27ページのベルソナの設定はすごくわかりやすくいいと思います。ほかに同性パートナーシップの子育て支援の観点で、里親や養子などの制度についてわかりやすく伝えられたらよいのではないのでしょうか。在住者がパートナーを呼ぶ時に真っ先に検証に上がると思うので、有利になると思います。
	回答	27ページで設定したベルソナは施策の訴求力を高めるために設定しているものです。ベルソナに該当しない方に対しても相談などにおいて個々の状況等に寄り添ったサポートを行ってまいります。
2	意見	5(2)おうめをみつける 都心から青梅に移住して5年になります。都心から来られた方からは青梅が「もったいない街」、「意外と近い」、「今まで青梅に来たことがなかった」との声をいただきます。つまり青梅の知名度が低いのだと思います。市として、毎日テレビや雑誌にニュースリリースを出して宣伝しているのでしょうか。
	回答	令和4年度から、移住希望者にターゲットを絞り、ホームページや雑誌、WEBサイトなどでPRを行っております。本プランでも引き続きプロモーションを行っていくこととしており、青梅市の移住先としての知名度向上に努めてまいります。 市民の皆さまによる情報発信も効果的であると捉えていますので、お知り合いなどに対し青梅の魅力をお伝えいただけますと幸いです。
3	意見	5(4)おうめをおためしする 移住体験モニターツアーについて。内容はわかりませんが、団体行動と相性が悪いのでは。小型EVなどを貸し出し市内を自由に移動してもらい、オペレーターがメッセージアプリや通話で助言できるような自由度の高いものにすれば、「また参加したい」方の獲得につながるのではないのでしょうか。令和5年度の再訪希望者0件という内容は目を引きます。
	回答	令和5年度に実施した移住体験モニターツアーの反省点を踏まえ、令和6年度については行程などを見直し実施したところ、実施後の参加者アンケートでは高評価をいただきました。 団体行動を希望しない方については、本プラン32ページにて新たに位置づけた「カスタムメイド市内案内」事業をご利用いただくことで対応することとしております。

項番	区分	市民意見の内容（要旨）・市からの回答の内容
4	意見	<u>5(5)おうめにきめる</u> 空き家が増えている現状が残念ですし、税金が増え続けることで家の維持が難しくなり、やむを得ず手放す人もいます。国のトップに意見の言える市長を目指して行っていただきたいと強く願います。
	回答	空き家対策については、青梅市空家等対策計画に位置づけた各種施策を進めるとともに、本プランでは33ページに記載の「空家バンク・家財道具等処分・リフォーム支援」、新たな施策となる「急速な人口減少が懸念される地区の不動産の活用促進」により、移住・定住促進の観点からも取り組んでいくこととしています。
5	意見	<u>5(5)おうめにきめる</u> 青梅市への移住を促進するためには、青梅市だから可能だという劇的な取組みが必要です。家賃が東京都平均より少し安いだけでは不十分で、特に空き家対策に注力すべきです。安価で広い住宅を提供すれば、都市部からの移住者が増えると考えられます。人口減少が進む中、空き家対策を進め、市民税を確保することが重要です。
	回答	空き家対策については、青梅市空家等対策計画に位置づけた各種施策を進めるとともに、本プランでは33ページに記載の「空家バンク・家財道具等処分・リフォーム支援」、新たな施策となる「急速な人口減少が懸念される地区の不動産の活用促進」により、移住・定住促進の観点からも取り組んでいくこととしています。
6	意見	<u>5(5)おうめにきめる</u> 去年、広くて安いアトリエを借りたくて青梅市に引っ越してきましたが物件を探すのに大変苦労しました。私の作家仲間も同じように苦労しています。作業場として自由に使える物件は不動産サイトには載っておらず、人づてでしか情報が手に入りません。市内の多く存在する空き家を利用できるマッチングサイトや支援施策があればいいのと思います。 市の空家バンクも見ましたが、物件数が少なく、賃貸物件も少ない上にサイトも見づらいです。青梅は自然も豊かで交通の便もある程度整っており、広くて安い家を借りることができる利点があります。アーティストや作家、クリエイターがもっと移住してくれば面白くて魅力的な街になるのではないかと思います。
	回答	本プランでは、「市民みんながコンシェルジュ！」事業を拡充し、不動産事業者などでも相談できる体制を整えることとしております。一般社団法人こーよ青梅では、市内での開業予定者と物件オーナーをマッチングする事業「かしおし不動産」を展開しています。市の空家バンクなどとも連携を図り、移住希望者が抱える「住まい」の困りごとを軽減できるよう支援してまいります。

項番	区分	市民意見の内容（要旨）・市からの回答の内容
7	意見	<u>5(5)おうめにきめる</u> 新婚世帯に関する施策の認知度が不足している点に共感しました。私は結婚後も青梅市に住みたいと考えているので、施策を結婚相談所などを通じて宣伝するのが良いと思います。
	回答	市では令和4年度より、市広報、SNS、市での婚姻届出時、都の運営する結婚応援ホームページ「TOKYOふたりSTORY」への掲載などにより制度周知を行っています。令和7年度からは新たな施策を開始することから、結婚相談所など本制度と親和性のある事業者の方に御協力いただきながら、制度の周知を図ってまいります。
8	意見	<u>5(5)おうめにきめる</u> 若年女性の都心集中という全国的な問題に対しては、青梅市を女性が働きやすく、社会的束縛が少ない自由な雰囲気のある街にすることが重要だと思います。地方コミュニティの束縛を嫌う女性の住みやすい受け皿として、医療や福祉の就労者のために置き配や駐車場を整備した安全な賃貸住宅を提供したり、就労者への補助を行うなど対策が必要だと考えます。
	回答	女性の働きやすさに関しては、「青梅市ジェンダー平等推進計画」の中に位置づけ取り組んで行くこととしています。 また、女性の市外流出については、本プランでは34ページに記載のとおり遠距離通勤ENJOY応援金事業を拡充し都心などで働く市民の方に対する支援を行うことで引き続き取り組んでまいります。
9	意見	<u>全般</u> 移住希望者には、海外からの永住希望者も含まれるのでしょうか。単に人口を増やせば良いわけではありません。特に治安の面で問題を抱えるような状況にはなって欲しくありません
	回答	「移住希望者」そのものには、国籍その他の要件は設けておりません。ただし、現在、実施している支援制度のなかには、定住を促す観点から、在留資格を要件化しているものもあります。
10	意見	<u>全般</u> 精力的なKPI設定で進めようという意欲、ありがとうございます。プラン全体を読み込むのは大変なので、概略版で要点を見える化していただけると意見も増えるのではないかと思います。
	回答	本プランは市の策定する他計画と比較し分量が半分以下と少なく、また、各項目ごとに「現状と課題の整理」として要点をまとめているため、概略版は作成しません。

項番	区分	市民意見の内容（要旨）・市からの回答の内容
11	意見	<u>全般</u> 高齢化、コロナ禍での活動衰退、若者世代の忙しさ等により地域住民の活動力の低下を感じています。青梅市の未来のためには、より高い目標・ビジョンを掲げた大きな予算を投じての動きがないと青梅市が衰退に向かうのではないかという危機を強く感じています。
	回答	本プランは総合長期計画に位置付けられた「移住定住人口の確保」という目標に特化した個別の行政計画となります。高齢化をはじめとした諸課題に対処するためには、市の最上位計画となる総合長期計画の推進を通してさらなる本市の発展を目指し総合的に取り組んでまいります。
12	意見	<u>全般</u> 私は、現在の計画の理想はわかりますが、根本が違うと感じています。ワクチン接種が健康に悪影響を与え、子供が産めなくなると言われる中で、人口維持を図るのはおかしいと思います。人口の維持のため外国人を受け入れれば、生活保護費で市の財政は厳しくなるでしょう。この計画は具体的な事実に基づき見直すべきです。トランプ政権のような変化が青梅の行政にも必要であり、「生きるとは何か」を問い直してから再度計画すべきです。
	回答	本プランは、4ページから24ページに記載の「市の現状と課題」および「これまでの施策の振り返り」の中で、データから現状分析・施策評価を行っており、エビデンスにもとづき作成しています。
13	意見	<u>全般</u> 私は河辺駅前をもっと楽しく活気ある場所にしたいと思っています。例えば、季節やイベントに合わせて駅前の通路をイルミネーションなどで装飾したり、市民や学生たちが一緒に駅前を盛り上げる活動したり、駅前の噴水を土日に稼働させたり、空き店舗の家賃を下げ活用を促したりすることで、街がより活気づくと思います。青梅線でグリーン車が運行されるようになるのも良い傾向です。
	回答	ご意見としてお伺いします。
14	意見	<u>全般</u> 東青梅駅北口にエレベーターを設置して欲しい。
	回答	ご意見としてお伺いします。

項番	区分	市民意見の内容（要旨）・市からの回答の内容
15	意見	<u>その他</u> パブリックコメントで住所や氏名を記入する必要性には疑問があります。プライバシーが守られないなら、直接対話も検討すべきです。生きることや生命について考えてから計画を立ててほしいです。
	回答	「青梅市パブリックコメントに関する指針の考え方」にもとづき、建設的で責任のある意見を求めるため、住所、氏名を明記していただいております。電話や窓口等での口頭による聞き取りは行わないこととしています。
16	意見	<u>その他</u> 2ページ住民税非課税世帯追加支援給付金に感心
	回答	2ページは目次であり、本文中2ページ目にも該当箇所が見つかりませんでした。

貴重なご意見、ありがとうございました

